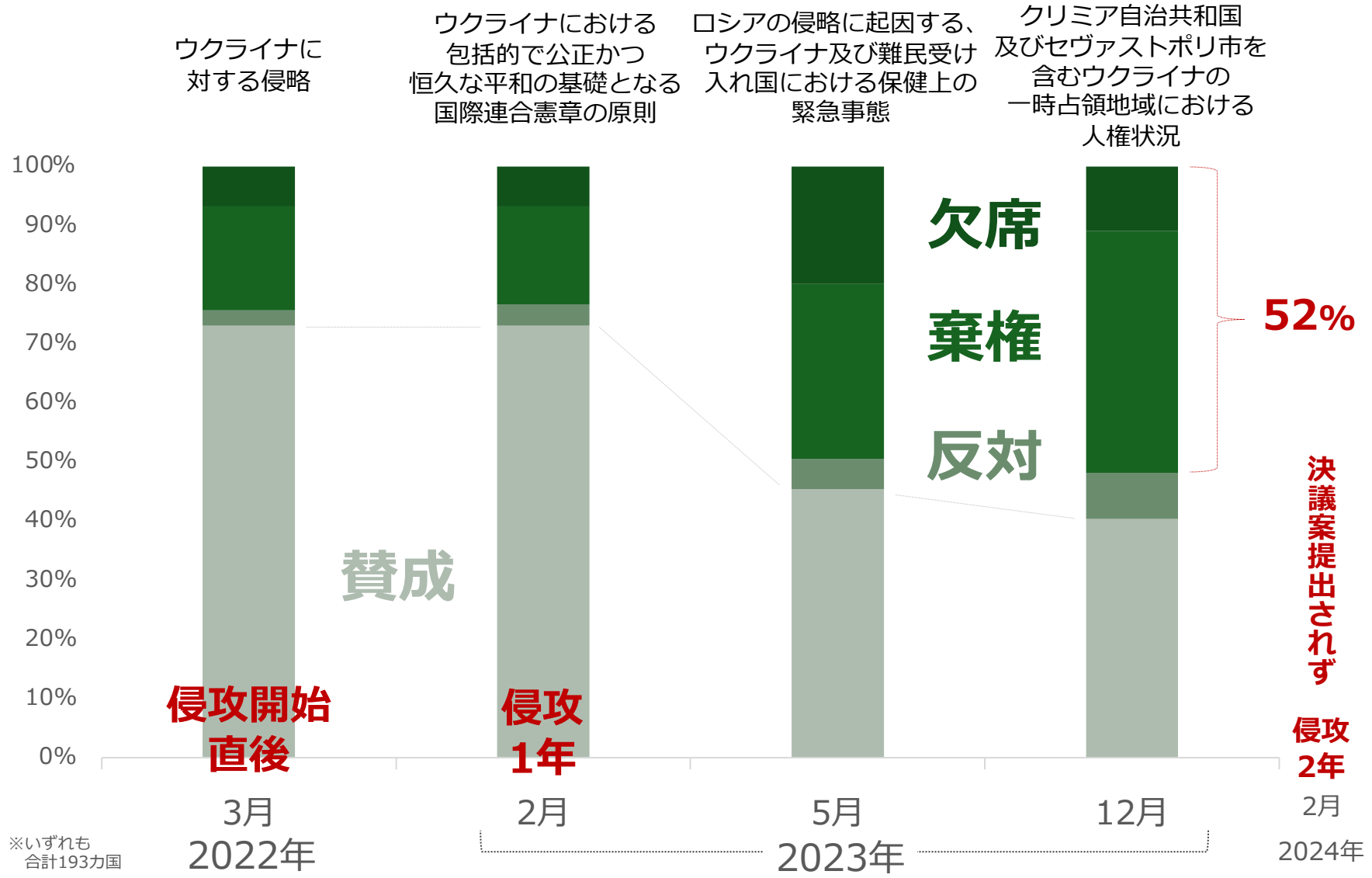
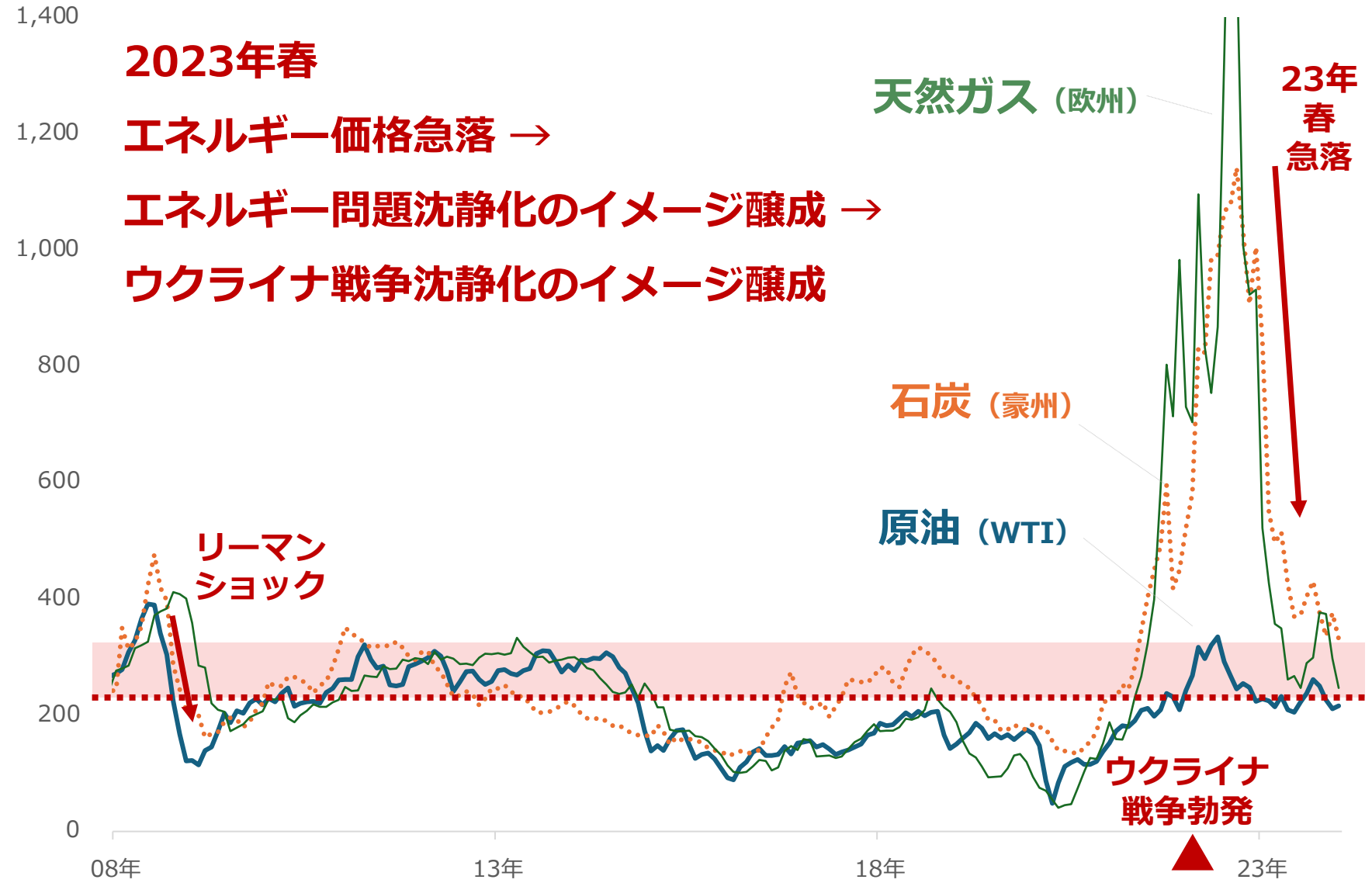


# ● ウクライナ関連のロシアを非難する国連総会決議（危機勃発直後および2023年）



世界の半分が、明確な意思を示さなくなった。まるで「脱ウクライナ危機」。

# ● エネルギー価格の推移 (2008年1月を100)

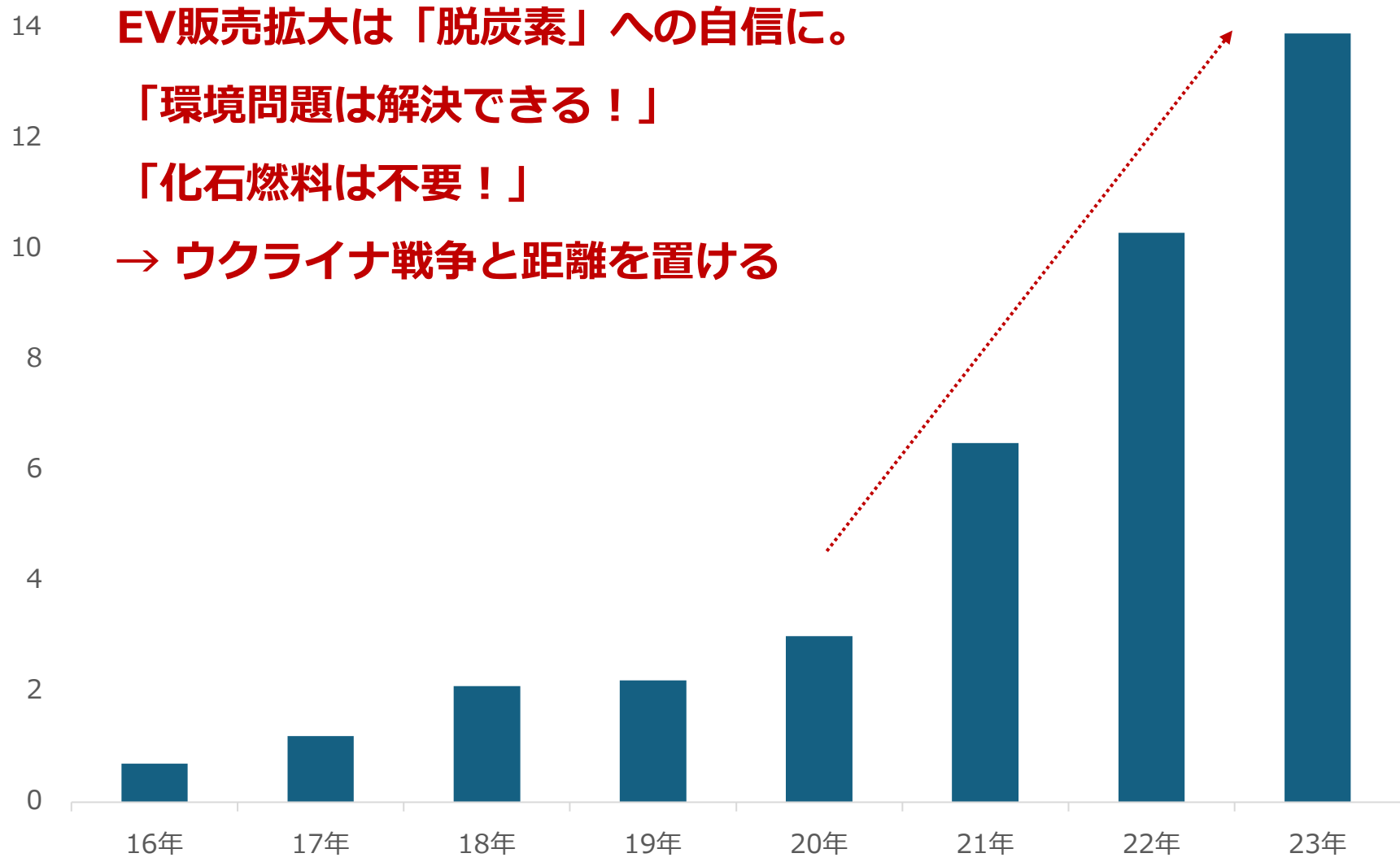


**2023年春**  
**エネルギー価格急落 →**  
**エネルギー問題沈静化のイメージ醸成 →**  
**ウクライナ戦争沈静化のイメージ醸成**

出所：世界銀行のデータをもとに筆者作成

エネルギー価格の動向は ウクライナ戦争の動向のバロメータとして見られてる。

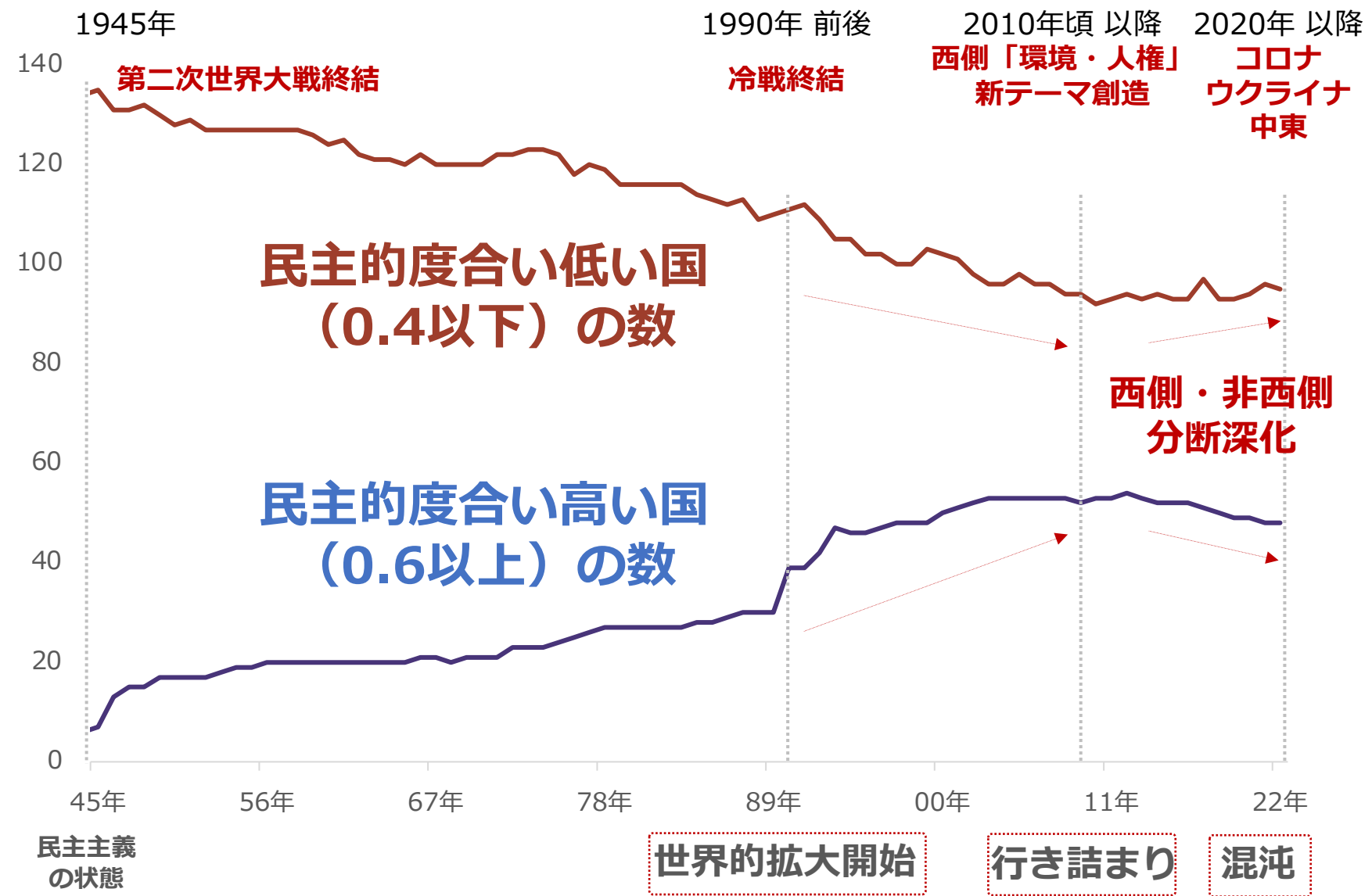
# ● 世界のEV（電気自動車）販売台数 単位：百万台



出所：IEA（国際エネルギー機関）のデータをもとに筆者作成

EV販売台数は急増。脱炭素推進・環境問題改善に自信が付いた。

# ● 自由民主主義指数0.4以下および0.6以上の国の数 (1945年~2022年)



出所：V-Dem研究所のデータをもとに筆者作成

近年の世界は分裂状態。戦争勃発直後はまとまったが、今はまとまりが崩れた。

● 2023年2月23日から12月19日にかけて賛成からそれ以外に姿勢を変えた国

2023年

2月23日 12月19日

賛成 → 棄権

49カ国

産油国・東南アジア  
中南米・アフリカなど

サウジ、イラク、UAE、リビア、  
ブラジル、インドネシア、マレーシアなど

賛成 → 欠席

12カ国

中南米・アフリカ 中心

賛成 → 反対

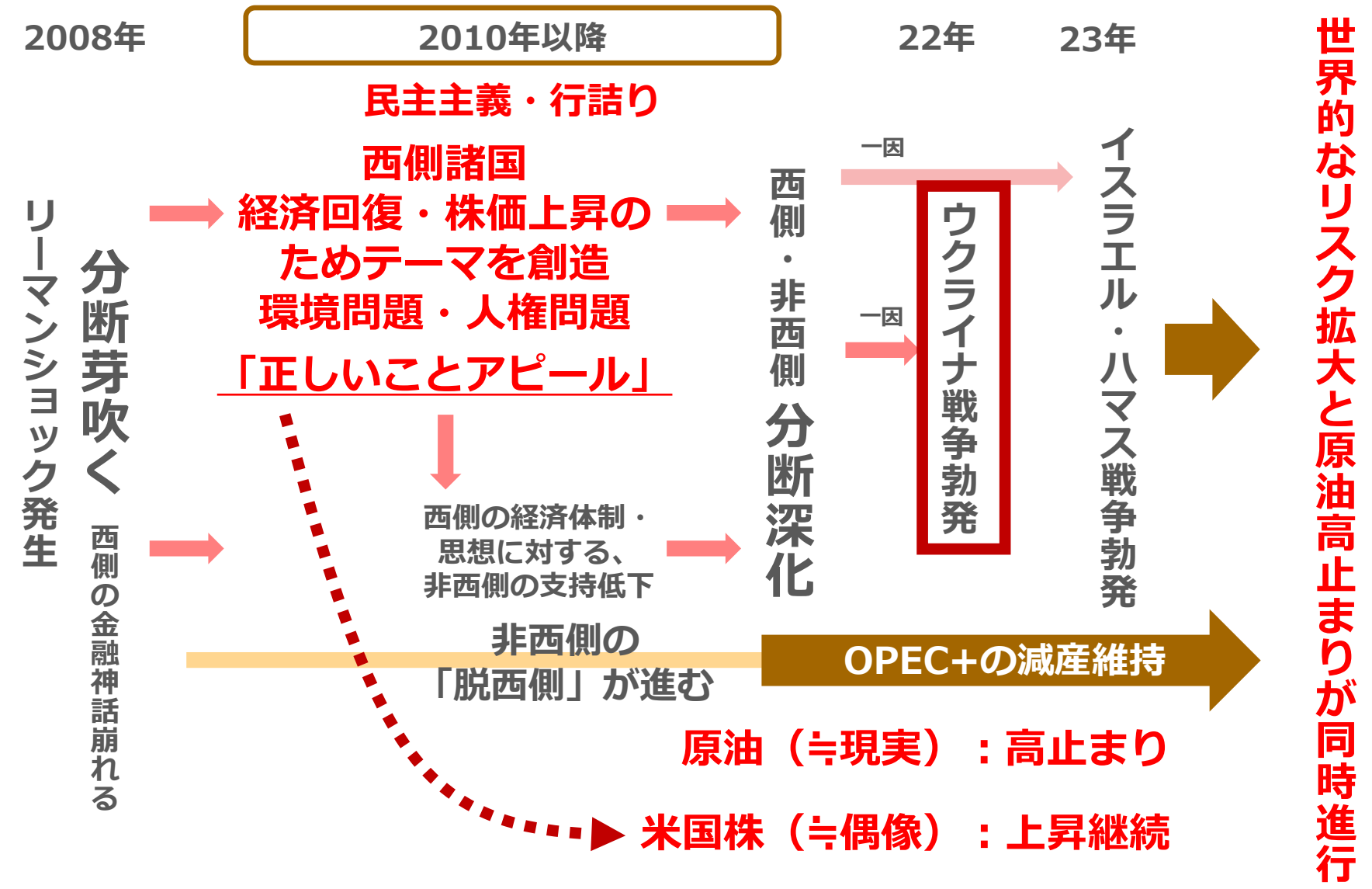
2カ国

63カ国 (193カ国中)

出所：国連の資料をもとに筆者作成

産油国の多くが賛成から棄権に回った。中南米 アフリカ 東南アジアの国々も。

● リーマンショック起点の世界的なリスク拡大と原油高止まりの同時進行 (筆者イメージ)



出所：筆者作成

ショック後、民主主義が行き詰まり、リスク拡大と米国株上昇が同時進行した。

# ● NY原油先物（日足 終値） 単位：ドル/バレル



出所：Investing.comのデータより筆者作成

分断起因の産油国減産はまだまだ続く。